

令和 3 年度 決算特別委員会

主要事業概要

○道路事業

- ・ 道路整備アクションプラン 1 頁
- ・ 西鉄天神大牟田線連続立体交差事業（雑餉隈駅付近） 2 頁
- ・ 福岡高速 3 号線延伸事業 4 頁
- ・ 自転車活用の推進 6 頁
- ・ 無電柱化の推進 8 頁

○河川事業

- ・ 治水対策事業（主要な河川整備） 10 頁

○下水道事業

- ・ 下水道経営計画 12 頁
- ・ 改築更新（下水道施設のアセットマネジメント） 13 頁
- ・ 浸水対策（雨水整備 D o プラン 2026） 14 頁
- ・ 浸水対策（雨水整備レインボープラン天神） 18 頁
- ・ 地震対策（下水道施設） 20 頁

(参考)

- ・ 道路現況、河川整備状況、下水道普及状況、福岡都市高速道路概要 21 頁
- ・ 下水道事業における主な再生可能エネルギーの導入状況 23 頁
- ・ 平成 3 年度 主な整備完了箇所 24 頁

令和 4 年 9 月

道路下水道局

道路整備アクションプラン

1. 道路整備アクションプラン2024（R3～R6）の状況

項目	単位	令和2年度末 見込み (策定時)	令和2年度末 (A)	令和3年度 事業量(B)	令和3年度末 (A)+(B)	令和6年度末 目標
生活関連経路のバリアフリー化された割合※1	%	91	91.1	2.3	93.4	99
整備延長	km	35.9	35.7	0.9	36.6	39.0
小学校周辺の歩車分離率※2	%	73	73.9	0.5	74.4	82
整備延長	km	258.4	258.4	1.6	260.0	288.8
自転車通行空間の整備延長	km	122	122.7	8.9	131.6	160
都市計画道路の整備率※3	%	84.7	84.7	0.1	84.8	86.1
都心部を回遊する歩行者量※4	人	41,310	41,310	-	37,655	46,000
無電柱化計画に基づく無電柱化整備延長	km	150	150.3	4.4	154.7	168
橋梁の長寿命化修繕計画に基づく橋梁修繕数	橋	175	175	17	192	234
道路照明灯のLED化率※5	%	86	86.9	1.3	88.2	95
LED照明灯数	基	32,845	33,057	505	33,562	36,151
地域が設置する防犯灯のLED化率※6	%	89	88.6	1.0	89.6	100
LED防犯灯数	基	39,125	39,138	448	39,586	44,193
市民等との共働による道路の保全活動団体数※7	団体	12	12	3	15	25

※1 バリアフリー化された延長÷生活関連経路全延長39.2km（直轄道路、臨港道路等除く）

※2 通学路を含む小学校から半径250mの道路のうち、歩車分離された延長÷全延長349.6km

※3 都市計画道路の整備状況（整備延長：歩道、車道の整備が完了した延長）

項目	単位	令和2年度末 見込み	平成2年度末 (A)	令和3年度 事業量(B)	令和3年度末 (A)+(B)
計画道路延長	km	505.8	505.8	0.0	505.8
整備延長	km	428.5	428.5	0.4	428.9

※4 天神と博多を結ぶ7つの橋の断面歩行者量の合計

（7:00～20:00、西大橋・福博であい橋・中洲懸橋・春吉橋・灘の川橋・住吉橋・柳橋）

※5 LED照明灯数÷市管理の照明灯数 38,033基

※6 LED防犯灯数÷地域の防犯灯数 44,193基

※7 道路サポーター制度の登録団体数

2. 令和3年度に供用した主な路線

[道路事業]

（県）周船寺有田線（橋本2） L= 400m

[街路事業]

（都）屋形原須玖線 L= 180m
（警弥郷）

[自転車通行空間]

（県）後野福岡線 L= 420m

[歩道美化]

（主）福岡志摩前原線 L= 680m
（大字小田）

国道385号

L= 1,920m

（市）清水干隈線（七隈）

L= 1,060m

西鉄天神大牟田線連続立体交差事業（雑餉隈駅付近）

1. 目的

踏切での交通渋滞や事故の解消を図り、鉄道により分断された市街地を一体化するなど、沿線地域の良好な住環境を形成するため鉄道の高架化を行うもの。また、併せて側道整備を行い、沿線の交通の利便性や安全性を高めるとともに、駅へのアクセス性を高め、公共交通の利用促進を図るもの。

2. 事業概要

事業内容	延長	L=1,864m		
	区間	博多区南八幡町二丁目 ～ 博多区西春町二丁目		
	除却踏切数	7箇所（うちボトルネック踏切5箇所）	立体交差道路	11箇所
	施行方法	仮線方式及び直上方式		
事業年度		平成22年度～令和7年度		
全体事業費		約415億円（福岡市負担約345億円、西鉄負担約70億円）		

3. 進捗状況

年 度	内 容
平成19年度	都市計画決定（平成20年3月24日）
平成22年度	都市計画事業認可（平成22年7月23日）基本協定締結（平成22年11月2日）
平成23年度	工事着手（平成24年1月）
平成26年度	新駅に関する都市計画変更（平成26年4月3日）
平成27年度	新駅に関する都市計画事業認可変更（平成27年7月3日）
平成28年度	仮線路へ切替（平成29年3月11日）
平成29年度	雑餉隈駅 仮平面駅 利用開始（平成30年1月27日）
平成30年度	筑紫通り（麦野跨線橋）仮設道路切替（平成31年2月10日）
令和2年度	事業期間に関する都市計画事業認可変更（令和3年3月26日）
令和4年度	高架切替（令和4年8月28日）及び筑紫通り供用（令和4年9月下旬）
令和5年度	新駅（桜並木駅）開業（予定）

4. 令和3年度 事業費及び事業内容

事業費・進捗率

（単位：百万円）

	令和3年度	令和2年度末	令和3年度末
事業費	938	31,368	32,306
進捗率(%)	—	90.9%	93.7%

事業内容

項 目	内 容
工事・補償	・高架橋工事 ・跨線橋撤去工事 ・筑紫通り本線工事 等

5. 平面図等

●平面図



●現在の施工状況

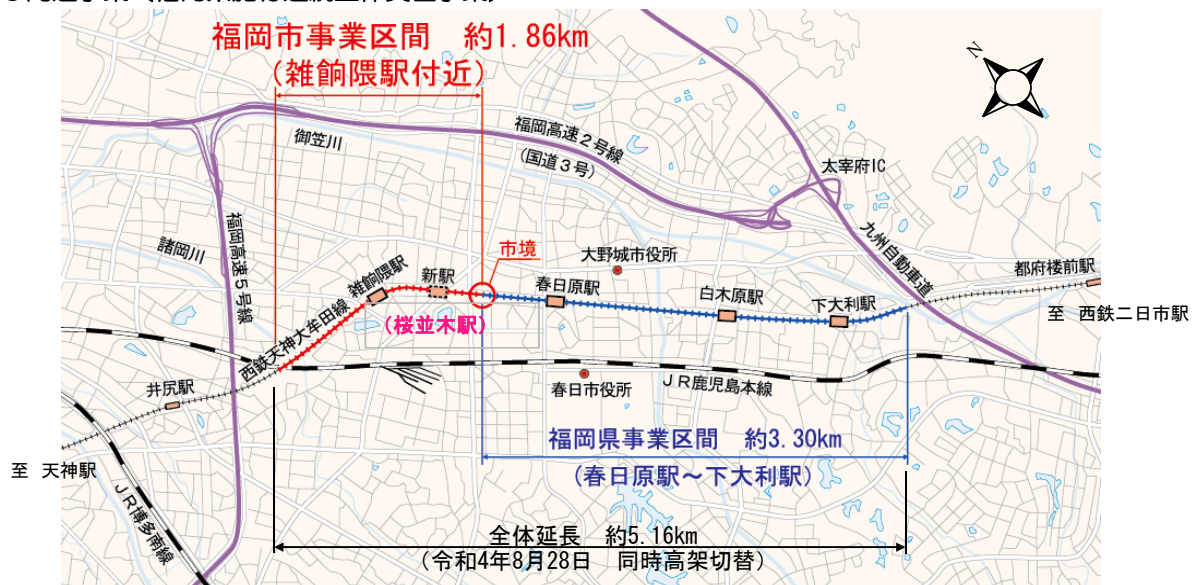
雑餉隈高架駅と高架橋



筑紫通りの周辺



●関連事業 (福岡県施行連続立体交差事業)



福岡高速3号線延伸事業

1. 目的

福岡空港の滑走路増設等の機能強化を見据え、福岡市の南部地域や太宰府方面から空港へのアクセス強化を図り、空港周辺道路の混雑緩和にも資するもの。

2. 事業概要

事業内容	路線名	福岡高速3号線			
	計画概要	規模(延長)	約1.8km (連結路約0.4kmを含む)	主たる構造	高架構造 地下構造
		車線数	4車線	道路の区分	第2種第2級
		設計速度	60km/h	JCT/出入口	豊ジャンクション (仮称)空港北ランプ
事業年度	令和3年度～令和12年度(予定)				
事業主体	福岡北九州高速道路公社(有料道路事業)				
概算建設費	約470億円(公社経費約62億円は含まない)				

3. 進捗状況

年 度	内 容
平成27年度	市道路線認定(平成28年1月14日) 福岡北九州高速道路公社 基本計画変更認可(平成28年3月28日)
令和2年度	都市計画決定(令和2年6月29日) 自動車専用道路指定(令和2年7月31日)
令和3年度	福岡北九州高速道路公社 整備計画変更許可(令和3年5月19日) 都市計画事業認可(令和3年7月12日)

4. 令和3年度 事業費及び事業内容

事業費

(単位:百万円)

	令和3年度	令和2年度末	令和3年度末
有料道路事業 (公社経費を含む)	680	—	680
市出資金(7.5%)	51	—	51
市貸付金(17.5%)	119	—	119
進捗率	1.3%	—	1.3%

事業内容

測量・地質調査及び設計

5. 概要図及びイメージ図



自転車活用の推進

1 目的

令和3年3月に策定した「福岡市自転車活用推進計画」に基づき、「はしる」、「とめる」、「まもる」、「いかす」の4つの観点による施策を進め総合的に自転車活用を促進していく。

はしる

自転車通行環境の創出

基本方針:安全で快適な通行環境づくり

まもる

自転車利用の適正化

基本方針:適正な自転車利用の促進

とめる

駐輪環境の整備

基本方針:利用しやすい駐輪環境づくり

いかす

自転車の活用

基本方針:自転車を活用したまちづくり

2 令和3年度 事業費及び事業内容

○事業費

(単位:百万円)

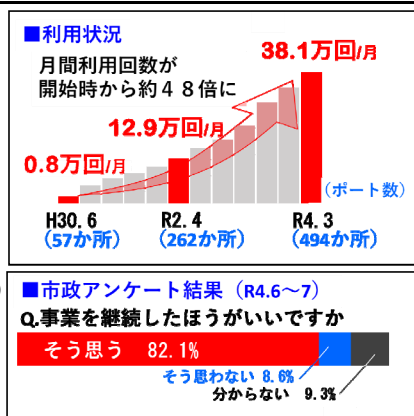
区 分		令和2年度		令和3年度	
はしる	自転車通行空間整備関連	296		231	
とめる	駐輪場整備関連	309		452	
	放置自転車対策関連	1,226	1,022	1,287	1,088
205			199		
合 計		1,832		1,971	

※「まもる」「いかす」については別途他局予算あり

○事業内容

(単位:百万円)

区 分	令和3年度	事業内容
自転車通行空間整備関連	231	○自転車通行空間の整備 令和3年度 整備延長:約8.9km 国道385号、清水干隈線(七隈) 等
駐輪場整備関連	452	○主な駐輪場の整備箇所 ・藤崎駅第2駐輪場(R3.10.12):368台 ○市営駐輪場整備状況(累計):134箇所 49,732台(R4.4.1現在)
放置自転車対策関連	1,088	○駐輪場の管理運営 指定管理者(12地区)による駐輪場の管理運営
	199	○放置自転車の撤去 放置禁止区域を中心に放置自転車の撤去【市全体】9,684台 ○駐輪マナーの啓発 街頭指導員を配置し、駐輪場の案内等の啓発活動を実施【市全体】20,957人
福岡スマートシェアサイクル事業	—	○シェアサイクル事業の促進 実証実験を経て令和2年4月よりneuet(株)と共同事業実施中。 都心部より順次エリアを拡大し、市はポート確保などを支援。 ・令和3年度 ・東区へエリア拡大(箱崎、千早・香椎、アイランドシティ) ・電動アシスト車導入



3 福岡スマートシェアサイクル事業の継続の可否について

○事業概要

目的： 福岡市では平成27年3月に「福岡市総合交通戦略」を策定し、都心拠点間の回遊性向上等の実施施策の一つとして「自転車共用システムの導入支援」を掲げており、平成30年6月からの「福岡スマートシェアサイクル実証実験」を経て、令和2年度から公募により選定した事業者と共同で、都心部の回遊性向上や放置自転車の減少による自転車対策の課題解決などを図ることを目的として、「福岡スマートシェアサイクル事業」に取り組んできた。

実施事業者（サービス名）： neuet株式会社（チャリチャリ）

役割分担： ①実施事業者の役割

- ・運営全般
- ・施設整備（ポート・自転車等設置）
- ・民有地におけるポートの確保等

②福岡市の役割

- ・市民等への周知・広報等
- ・公共施設等におけるポートの確保

実施期間： 令和2年度～令和4年度

※期間中の実施状況が良好であり、継続が望ましいと認められた場合は、2年間（令和6年度まで）延長することができる。

○事業継続について

継続判断： 事業目的の達成状況や共同事業継続の必要性、市民意見等を踏まえ、有識者（学識経験者、市課長級職員）による検討委員会の審査を経て、事業継続の可否を決定する。

スケジュール： 令和4年6～7月 市政アンケート
令和4年10～11月 有識者による検討委員会

（参考）福岡市自転車活用推進計画（R3～R6）の状況 ※道路下水道局関連分を抜粋

成果指標			令和2年度末	令和3年度 事業量	令和3年度末	令和4年度 事業量	令和4年度末 予定	令和6年度末 目標
はしる	自転車通行空間 整備延長	km	122.7	8.9	131.6	10.5	142.1	160
	駐輪場整備台数	台	—	368	368	250	618	1,000
とめる	路上駐輪場 ※1 設置台数	台	4,933	▲105	4,828	▲718	4,110	4,500
	自転車放置率	%	1.6	—	1.3	—	現状維持	現状維持
まもる	保管自転車の 返還率	%	50	—	49	—	63	65
	シェアサイクルポート	か所	370	124	494	56	550	600以上
い か す	シェアサイクルの 月間平均ライド数 ※2	回	約210,000	—	約320,000	—	約300,000以上	約300,000以上

※1：路上駐輪場は、令和3年度に天神地区と西新地区で撤去を行い、令和4年度に博多駅地区と天神地区で撤去を予定している。

※2：シェアサイクルの月平均ライド数は、いずれも年間を通じた平均数

無電柱化の推進

1. 福岡市無電柱化推進計画（R3～R7）

（1）基本的な方針

①取組姿勢・官民の役割分担

防災性の向上、安全性・快適性の確保、良好な景観形成等の観点から、道路管理者、電線管理者及び開発事業者等が連携し、適切な役割分担により、無電柱化を推進する。

②対象路線

無電柱化は工事や地上機器の設置場所等について、沿道住民等の合意形成が重要である。そのため、道路の整備・改良に合わせた事業実施を基本に、以下の道路について優先的に無電柱化を推進する。

<防災>

福岡市が管理する緊急輸送道路及び幹線道路等

<安全・円滑な交通確保>

福岡市バリアフリー基本計画における生活関連経路等

<景観形成・観光振興>

地域の特性を活かした良好な景観形成や観光振興のため、街並みや自然環境などとの調和を図り、地域の魅力を高める必要がある道路

<まちづくり等に合わせた無電柱化>

区画整理や開発行為等の面整備事業における道路

（2）無電柱化推進計画の目標に対する進捗状況

①計画延長に対する進捗状況

計画期間中に工事着手する路線について、約48.9km^{*}の無電柱化に着手する。

対 象 路 線	令和3年度末 (km)	令和7年度末 目標 (km)	進捗率 (%)
緊急輸送道路及び幹線道路等	11.6	約34.4	33.7%
福岡市バリアフリー基本計画における生活関連経路等	0.0	約2.8	0.0%
街並みや自然環境などとの調和を図り、地域の魅力を高める必要がある道路	0.6	約2.5	24.0%
区画整理や開発行為等において整備する道路	4.1	約13.8	29.7%
合 計	15.7	約48.9	32.1%

^{*}複数項目に該当する路線もあるため、合計とは一致しない。

②指標に対する進捗状況

国の計画目標を踏まえ、電柱倒壊リスクがある市街地等（DID地区）の緊急輸送道路の無電柱化着手率を34%（R2年度末）⇒45%（R7年度末）とする。

計 画 目 標	令和3年度末	令和7年度末目標
電柱倒壊リスクがある市街地等（DID地区）の緊急輸送道路の無電柱化着手率	39.1%	45%

2. 令和3年度 事業費及び事業量

	令和3年度
事業費（百万円）	1,748
整備延長（km）	4.4

3. 令和3年度の主な整備箇所

（主）福岡志摩前原線、（県）桧原比恵線、（都）国道3号線（半道橋、板付）

<参考>

○整備事例

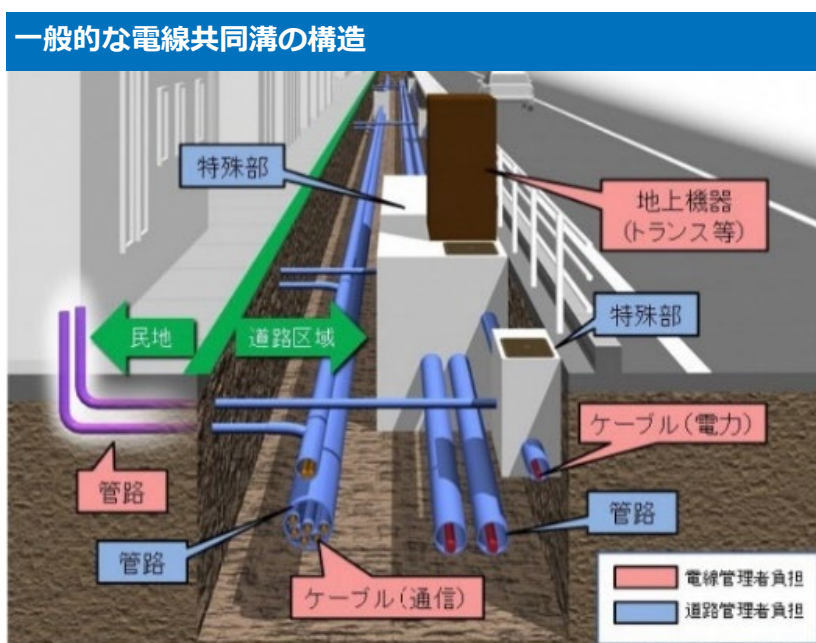


妙見通り (東区)



承天寺通り (博多区)

○電線共同溝のイメージ



治水対策事業（主要な河川整備）

1. 目 的

雨水排水の根幹である河川の改修を推進することで、大雨による河川の氾濫を防止し、浸水被害の軽減を図る。

2. 事業概要

二級河川 (都市基盤河川)	河 川 名	周船寺川、水崎川、金屑川
	全体事業延長	16,805m
	全体事業費	約519億円
準用河川	河 川 名	若久川、香椎川、浜男川
	全体事業延長	2,740m
	全体事業費	約78億円

3. 進捗状況

項 目	令和3年度 改修延長(m)	令和2年度末 改修延長(m)	令和3年度末	
			改修延長(m)	改修率(%)
二級河川 (都市基盤河川)	143	12,230	12,373	73.6%
準用河川	110	750	860	31.4%

4. 令和3年度 事業費及び事業内容

事業費・進捗率

(単位：百万円)

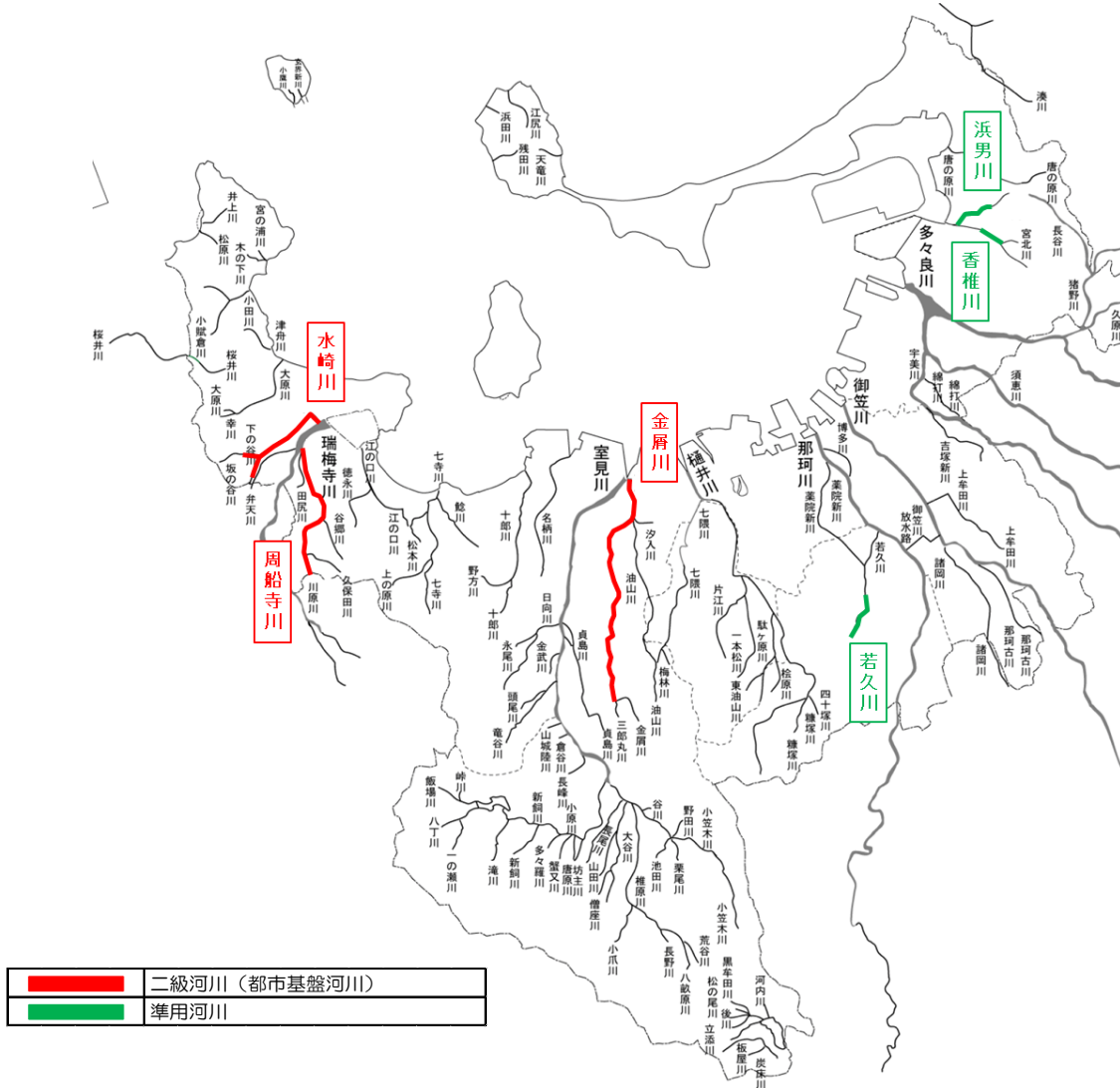
項 目		令和3年度	令和2年度末	令和3年度末
二級河川 (都市基盤河川)	事 業 費	630	42,959	43,589
	進捗率(%)	—	82.7%	83.9%
準用河川	事 業 費	176	1,341	1,517
	進捗率(%)	—	17.1%	19.4%

事業内容

項 目	内 容
二級河川 (都市基盤河川)	<ul style="list-style-type: none"> ・周船寺川 補償、借地、工事費負担金 等 ・水崎川 護岸工106m、補償、借地 等 ・金屑川 護岸工180m、測量、地質調査 等
準用河川	<ul style="list-style-type: none"> ・若久川 測量 ・香椎川 搬入路工、補償 等 ・浜男川 低水路工110m 等

5. 位置図

治水対策事業河川



6. 各河川ごとの進捗状況

項目	事業期間	令和3年度末 進捗状況						
		全体事業延長 (m)	改修率 (対延長)		全体事業費 (百万円)	進捗率 (対事業費)		
			改修延長 (m)	改修率 (%)		事業費 (百万円)	進捗率 (%)	
二級河川 (都市基盤河川)	周船寺川	H13~R10	4,580	2,160	47.2%	15,569	10,532	67.6%
	水崎川	H10~R5	3,810	3,810	100.0%	10,360	9,835	94.9%
	金屑川	S46~R19	8,415	6,403	76.1%	26,000	23,222	89.3%
	合計		16,805	12,373	73.6%	51,929	43,589	83.9%
準用河川	若久川	H31~R9	1,160	0	0.0%	1,852	19	1.0%
	香椎川	H26~R7	720	0	0.0%	4,778	331	6.9%
	浜男川	H19~R5	860	860	100.0%	1,200	1,167	97.3%
	合計		2,740	860	31.4%	7,830	1,517	19.4%

下水道経営計画

1. 下水道経営計画2024（R3～R6）の状況

施策	指標名	単位	過年度実績 (H29～R2)	下水道経営計画2024			令和3年度末 累計 (H29～)	令和8年度末 目標※
				令和3年度	令和3年度末 累計	令和6年度末 目標		
改築更新 (アセット マネジメント)	管 渠	km	101	23	23	140	124	314
	ポンプ場	箇所	43	1	1	13	44	63
浸水対策	雨水整備 Dプラン2026	地区	3	1	1	19	4	33
	雨水整備 レインボープラン天神	—	第2期事業 実施	第2期事業 実施	第2期事業 実施	第2期事業 実施	第2期事業 実施	第2期事業 完了
地震対策	管 渠	km	121	5	5	26	126	121
企業債	企業債残高 (年度末残高)	億円	3,423	3,302	—	3,223	3,302	3,201

※「福岡市下水道ビジョン2026」（H29策定）等の目標値

改築更新（下水道施設のアセットマネジメント）

1. 目的

下水道の役割を適切に果たし、市民の暮らしを支え続けるため、老朽化が進行する下水道施設の改築更新を計画的に進める。

2. 事業概要

基本方針	下水道施設のライフサイクルコストの最小化の観点から、適切な長寿命化を図るとともに、計画的な改築更新を進める。特に、施設の整備時期が早く、老朽化の進んだ都心部について重点的な改築更新に取り組む。
事業費	約650億円（下水道経営計画2024 令和3年度～6年度）

3. 令和3年度 事業費及び事業内容

事業費及び進捗率

（単位：百万円）

	令和3年度	令和3年度末（累計）
事業費	15,373	15,373
管渠	7,175	7,175
ポンプ場	2,163	2,163
水処理センター	6,035	6,035
進捗率(%)	—	23.6%

事業内容

項目	主な施設または箇所
管渠	23km：多の津、中洲、荒戸、長住、片江、四箇、大字金武
ポンプ場	坂本町（建築）
水処理センター	西戸崎（機械）、和白（機械）、東部（電気）、中部（機械）、西部（機械）

浸水対策（雨水整備Dのプラン2026）

1. 目的

平成11年6月29日の豪雨で、浸水被害が重大であった地区について、重点的に雨水対策に取り組んできた。令和元年度からは、重点地区（※）を拡大し策定した「雨水整備Dのプラン2026」に基づき、引き続き雨水対策を進める。

※重点地区の定義：平成元年度から30年度までの期間に、1回の降雨で5棟以上の浸水被害が発生した地区

2. 事業概要

事業期間	令和元年度～令和8年度
対象地区	33地区
整備水準	59.1mm/hr（10年確率）
事業費	約70億円

3. 進捗状況

年 度	進 捗 状 況
令和2年度末 累計	完了： 3地区（唐原、三宅、干隈）
令和3年度	完了： 1地区（賀茂）
令和3年度末 累計	完了： 4地区

4. 令和3年度 事業費及び事業内容

事業費及び進捗率

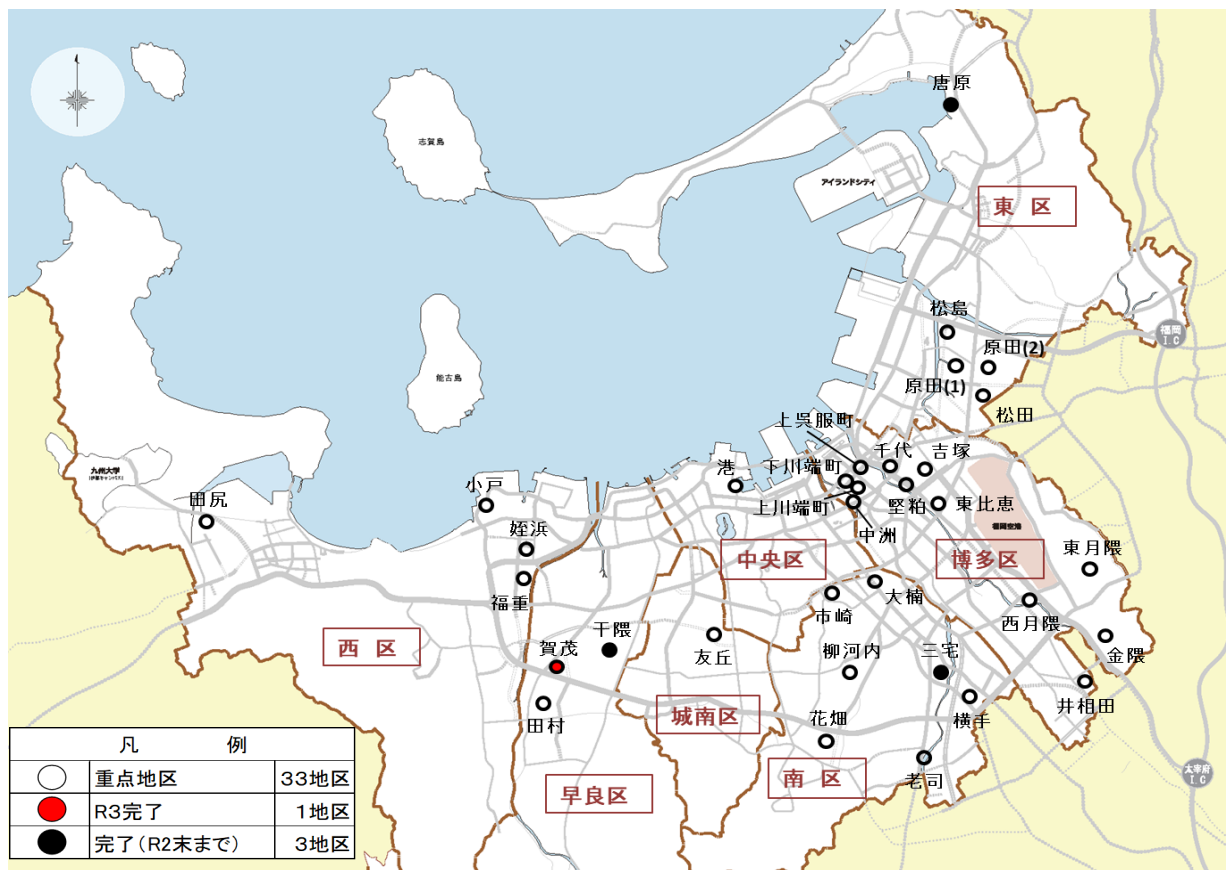
（単位：百万円）

年度	令和3年度 (A)	令和2年度末（累計） (B)	令和3年度末（累計） (A) + (B)
事業費	1,090	2,299	3,389
進捗率（%）	—	34.2%	50.4%

事業内容

項 目	主 な 施 設
管 渠	周船寺第1雨水幹線（西区：田尻地区）（継続）

5. 重点地区の箇所図



(参考) 雨水整備Dプラン2026 重点地区の進捗状況

行政区	重点地区数	着手地区数	R2年度末 (実績)	完了地区 (下水道経営計画2024)			R7年度以降 (計画)	令和3年度
				R3年度 (A)	進捗率 (A) / (B) (%)	R6年度末 (計画) (B)		完了地区
東 区	5地区	5	1		0.0	4		
博多区	12地区	12			0.0	6	6	
中央区	1地区	1			0.0	1		
南 区	7地区	7	1		0.0	4	2	
城南区	1地区	1			0.0	1		
早良区	3地区	3	1	1	100.0	1	工事 (賀茂)	
西 区	4地区	4			0.0	2	2	
計	33地区	33	3	1	5.3	19	11	

【参考】雨水整備Dプラン（旧重点59地区）

1. 目的

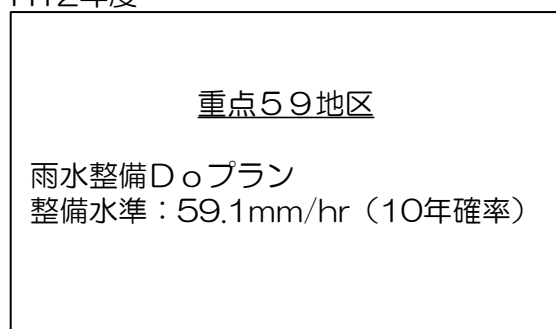
平成11年6月29日の豪雨により、浸水被害が発生した地区で、被害が重大でかつ過去にも複数回浸水した地区（※重点地区）において、早期に対策を行い、浸水被害の軽減を図る。

また、雨水整備Dプランは、平成30年度をもって事業完了している。

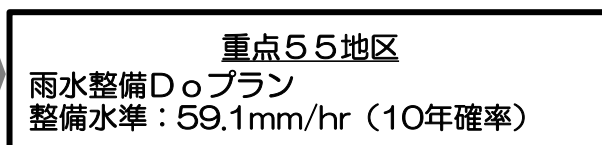
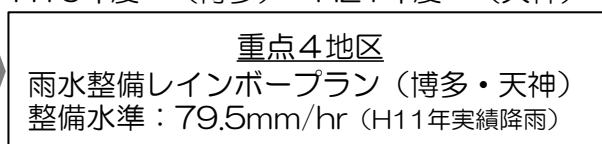
※重点地区の定 平成3年度以降複数回浸水し、かつ平成11年6月29日の豪雨により概ね10戸以上浸水した地区

2. 重点地区の整備水準

H12年度～



H16年度～（博多） H21年度～（天神）



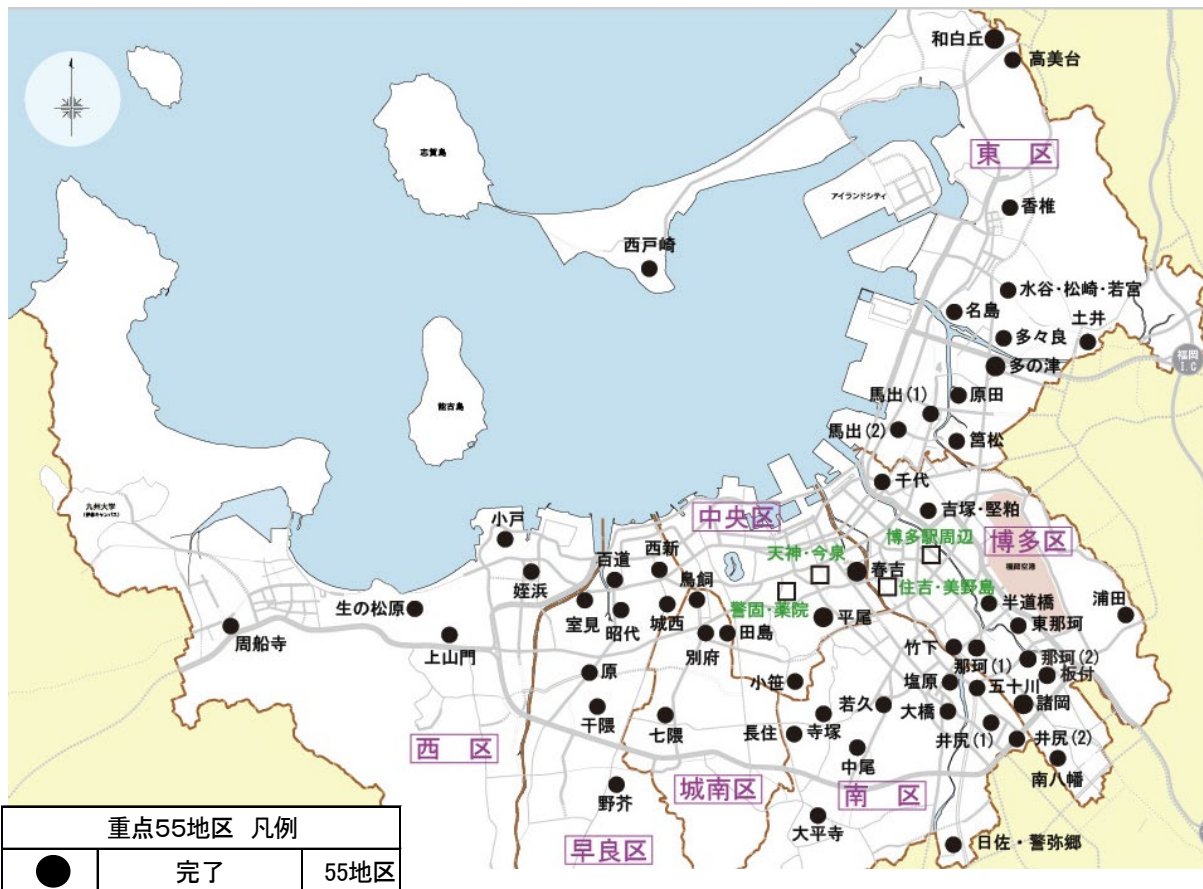
3. 事業概要

対象地区	55地区
整備水準	52.2mm/hr（5年確率） → 59.1mm/hr（10年確率）
事業年度	平成12年度～平成30年度
全体事業費	約1,256億円

4. 重点55地区の内訳

行政区	重点地区数(A)	重点55地区の内訳
東区	13地区	西戸崎, 和白丘, 高美台, 香椎, 水谷・松崎・若宮, 名島, 多々良, 土井, 多の津, 原田, 筥松, 馬出(1), 馬出(2)
博多区	11地区	千代, 吉塚・堅粕, 竹下, 那珂(1), 那珂(2), 諸岡, 半道橋, 東那珂, 浦田, 板付, 南八幡
中央区	3地区	春吉, 平尾, 小笹
南区	11地区	塩原, 大橋, 五十川, 井尻(1), 井尻(2), 日佐・警弥郷, 若久, 中尾, 寺塚, 長住, 太平寺
城南区	4地区	鳥飼, 別府, 田島, 七隈
早良区	8地区	城西, 西新, 百道, 昭代, 室見, 原, 干隈, 野芥
西区	5地区	姪の浜, 小戸, 上山門, 生の松原, 周船寺
計	55地区	

(参考図)



(参考) 雨水整備レインボープラン 重点4地区

- 天神・今泉、警固・薬院 (2地区) : 雨水整備レインボープラン天神により10年確率対応完了
(第1期事業が平成30年度に完了、第2期事業を令和元年度より実施)
- 博多駅周辺、住吉・美野島 (2地区) : 雨水整備レインボープラン博多により完了

浸水対策（雨水整備レインボープラン天神）

1. 目的

都心部である天神周辺地区は、地下空間利用が高度に進み、都市機能が集積していることから、浸水による影響が極めて大きいため、雨水整備水準を引き上げて、雨水対策を強化した「雨水整備レインボープラン天神」により、浸水に対する安全度の向上を図る。

2. 事業概要

段階的に整備を進めており、平成30年度までに第1期事業が完了し、令和元年度から、第2期事業を実施している。

事業期間	令和元年度～令和8年度	(第2期)
対象区域	約180ha	(第2期)〔全体計画：約260ha〕
整備水準	59.1mm/hr(10年確率)	(第2期)〔全体計画：79.5mm/hr〕
事業費	約107億円	(第2期)

3. 進捗状況

年度	進捗状況
令和3年度	中部9号幹線（継続）、今泉地区準幹線（継続）

4. 令和3年度 事業費及び事業内容

事業費及び進捗率

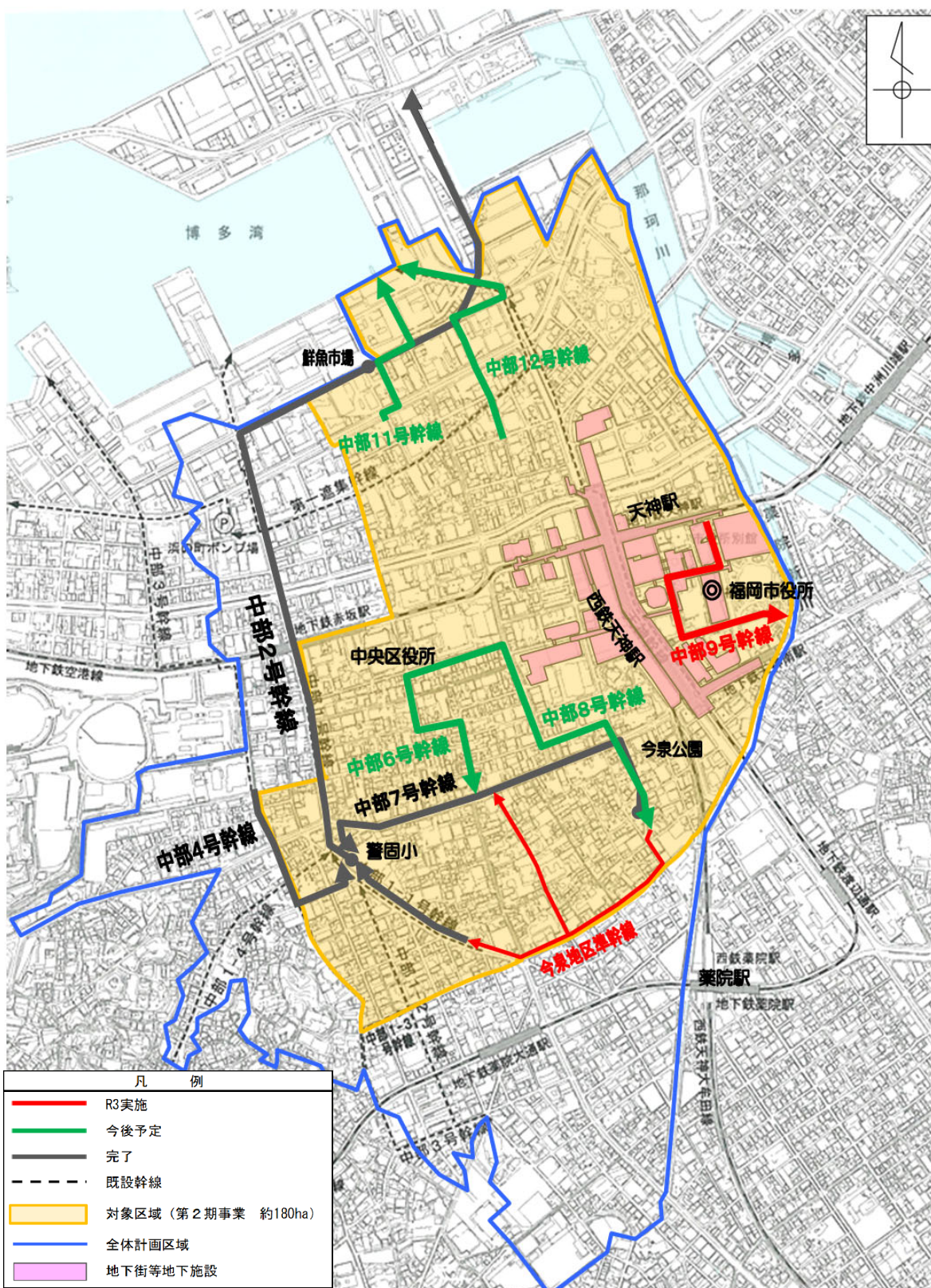
(単位：百万円)

年度	令和3年度 (A)	令和2年度末(累計) (B)	令和3年度末(累計) (A) + (B)
事業費	1,893	1,949	3,842
進捗率(%)	-	18.3%	36.0%

事業内容

項目	主な施設
管渠	中部9号幹線（継続）、今泉地区準幹線（継続）

5. 事業平面図



地震対策（下水道施設）

1. 目的

地震時における最低限の下水道機能を確保するため、施設の耐震化等を進める。

2. 事業概要

対 象	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急輸送路下などの重要な幹線管渠等（主に内径800mm以上） ・ポンプ場、水処理センター
事業費	約122億円（下水道経営計画2024 令和3年度～6年度）

※小口径管渠は、アセットマネジメント（改築更新）にて対応

3. 進捗状況

（単位：百万円）

年 度	令和3年度	令和3年度末（累計）	令和6年度末（目標）
管 渠	5km	5km	26km

4. 令和3年度 事業費及び事業内容

事業費及び進捗率

（単位：百万円）

年 度	令和3年度	令和3年度末（累計）
事 業 費	2,307	2,307
進捗率(%)	—	18.8%

事業内容

項 目	主 な 施 設
管 渠	和白唐の原汚水幹線、春吉1号幹線、城西1号幹線
ポンプ場	城西（継続）
水処理センター	和白

【参考】道路現況、河川整備状況、下水道普及状況、福岡都市高速道路概要

○道路現況

(令和4年3月31日現在)

区分	道路		橋梁数
	路線数	道路延長(m)	
国 道	3	30,764	25
県 道	49	255,691	213
市 道	22,534	3,591,556	1,789
合計	22,586	3,878,011	2,027

○河川整備状況

(令和4年3月31日現在)

区分	箇所数	全体延長(m)	改修済延長(m)	改修率
二級河川 (都市基盤河川)	20	54,230	49,772	91.8%
準用河川	25	49,670	39,001	78.5%
普通河川	64	64,850	41,472	64.0%
合計	109	168,750	130,245	77.2%

※二級河川（都市基盤河川）とは、市域内二級河川（県管理）42河川のうち、市で改修を行うために指定した河川である。

○下水道普及状況

(令和4年3月31日現在)

区 分	令和2年度末 (A)	令和3年度末 (B)	比較増減 (B) - (A)
処 理 人 口	人 1,610,700	人 1,615,280	人 4,580
人 口 普 及 率	% 99.7	% 99.7	% 0.0

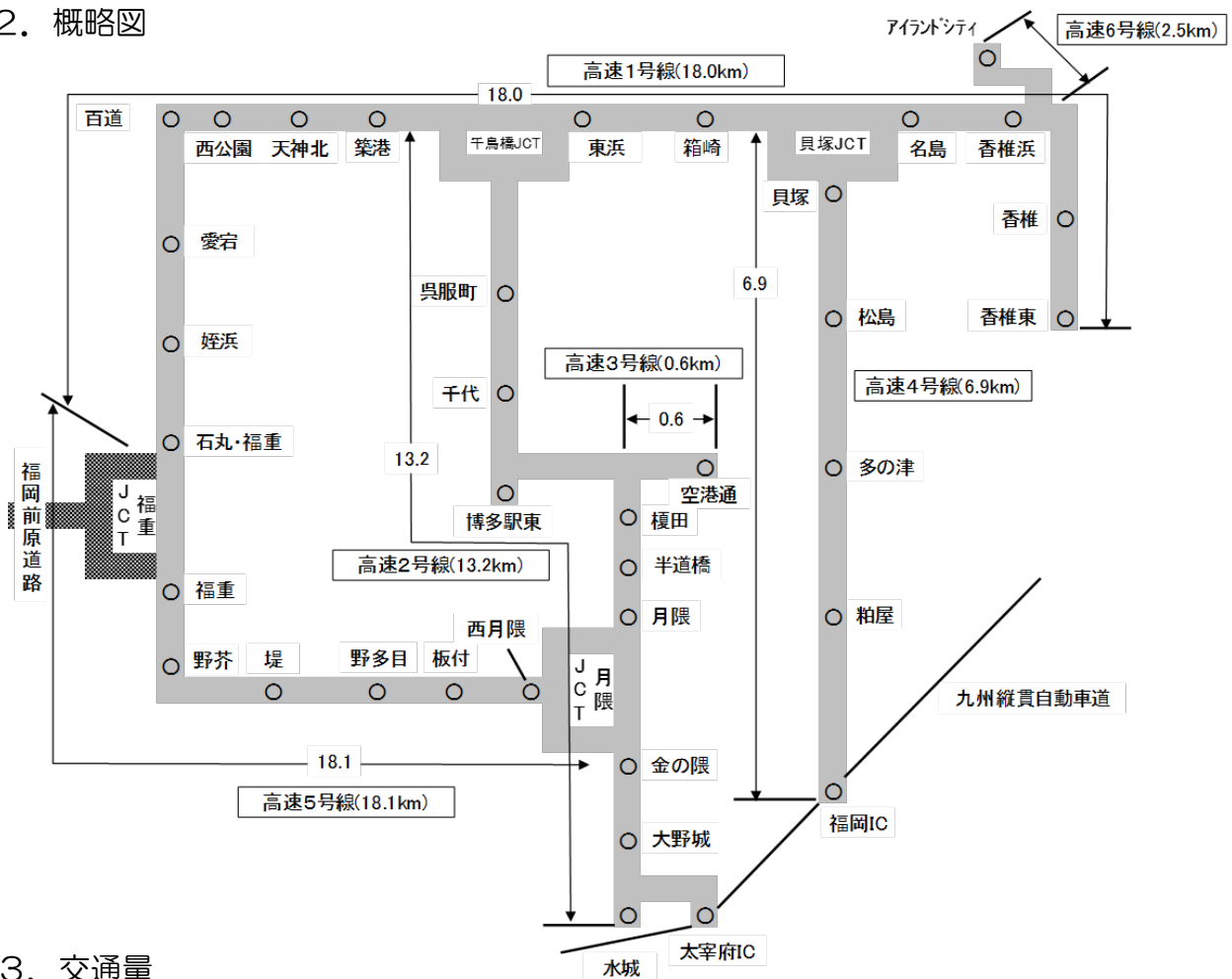
※公共下水道は、99.7%で概成である。残る0.3%は、農業漁業集落排水事業等である。

○福岡都市高速道路概要

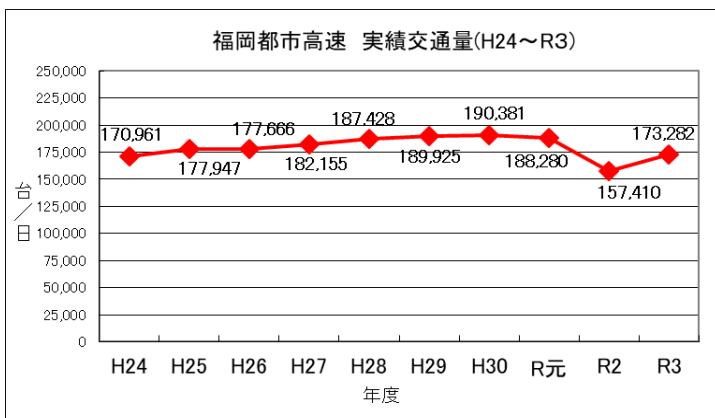
1. 供用路線

路線名	区間	延長
高速1号線	東区香住ヶ丘二丁目～西区福重三丁目	18.0km
高速2号線	博多区千代六丁目～太宰府市水城二丁目	13.2km
高速3号線	博多区東光二丁目～博多区豊二丁目	0.6km
高速4号線	東区箱崎心頭三丁目～東区蒲田三丁目	6.9km
高速5号線	博多区西月隈四丁目～西区福重三丁目	18.1km
高速6号線	東区香椎浜一丁目～東区みなと香椎一丁目	2.5km
合計		59.3km

2. 概略図



3. 交通量



年度	平均通行台数 (台/日)	平均ETC 利用率 (%)
平成24年度	170,961	80.8%
平成25年度	177,947	82.1%
平成26年度	177,666	83.6%
平成27年度	182,155	84.2%
平成28年度	187,428	85.0%
平成29年度	189,925	85.9%
平成30年度	190,381	86.8%
令和元年度	188,280	87.8%
令和2年度	157,410	88.5%
令和3年度	173,282	89.1%

(参考) 下水道事業における主な再生可能エネルギーの導入状況

1. 太陽光発電事業（令和3年度 実績）

	発電出力 (kW)	発電電力量 (万kWh)
西部水処理センター	1,320	177
新西部水処理センター	1,010	152

2. 消化ガス発電事業（令和3年度 実績）

	発電出力 (kW)	発電電力量 (万kWh)
中部水処理センター	1,999	1,208
和白水処理センター	100	81

3. 下水汚泥固形燃料化事業（令和3年度 実績）

3-1. 汚泥受入量及び固形燃料製造量

計画受入量	受入実績	固形燃料製造量
33,000 t	33,174 t	7,267 t (石炭約4,555 tに相当)

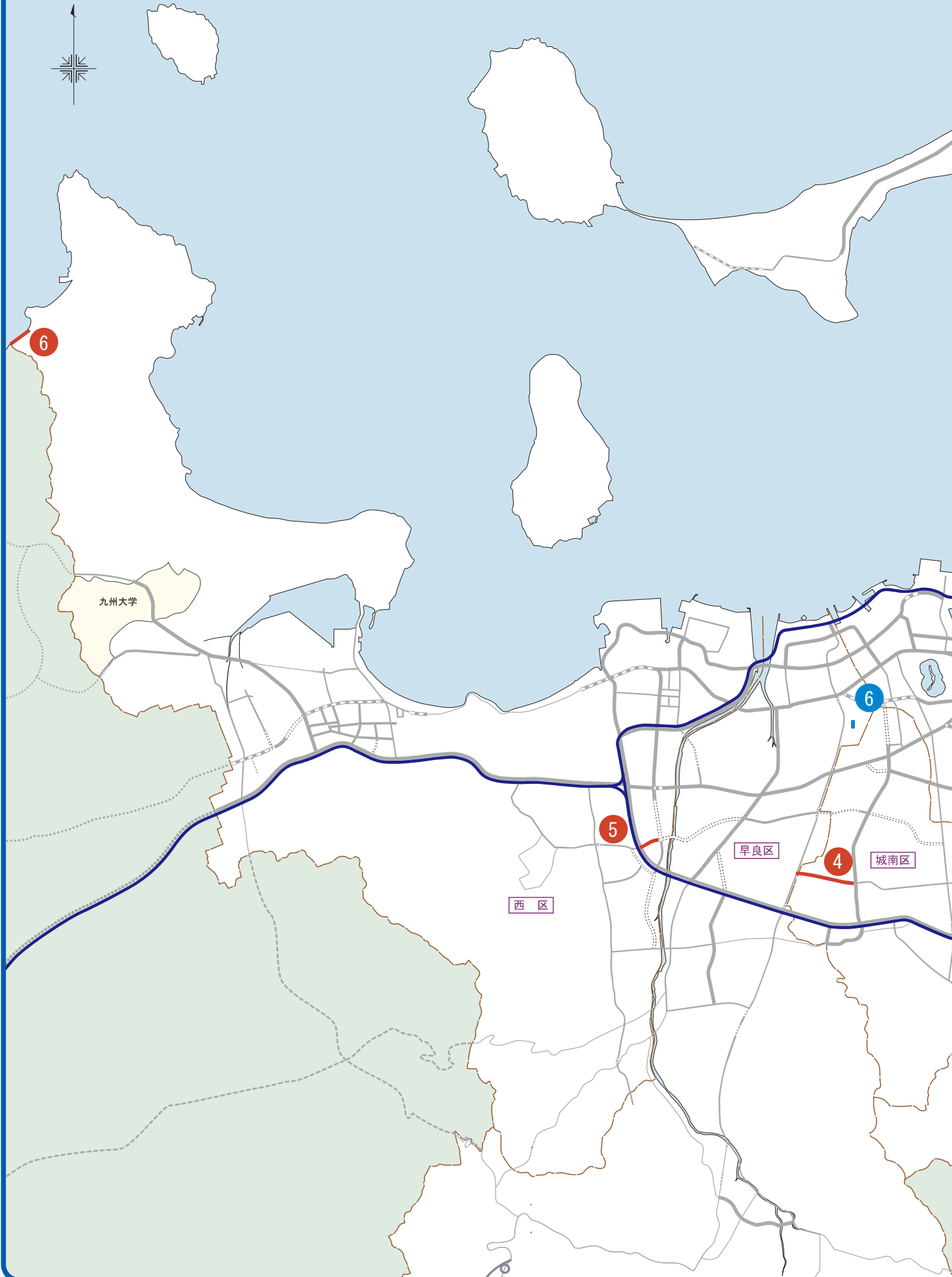
- ・ 固形燃料は、セメント工場で石炭の代替燃料として利用している

3-2. モニタリングの実施

区 分	主な確認項目
要求水準に 適合しているか	①有資格者の配置状況 ②業務内容 ③業務書類 ④脱水汚泥受入 ⑤下水汚泥固形燃料買取
技術提案に 適合しているか	①各種分析値 ②緊急体制の実績 ③維持管理体制と緊急時準備体制

- ・ 以上の項目について、モニタリングを実施し要求水準及び技術提案に適合していることを確認した。

令和3年度 主な整備完了箇所





【道路】

区	路線名	区間	現況幅員 (m)	計画幅員 (m)	供用延長 (m)	番号	備考
中央	(県)後野福岡線	清川1丁目 ～高砂2丁目	30	-	420	①	自転車通行空間
南	(都)屋形原須玖線	警弥郷	-	16	180	②	新設
	国道385号	大橋1丁目 ～野多目2丁目	22	-	1,920	③	自転車通行空間
城南	(市)清水干隈線 (七隈)	七隈四ツ角交差点 ～千隈二差路交差点	15	-	1,060	④	自転車通行空間
西	(県)周船寺有田線	橋本2丁目外	6～8	22	400	⑤	拡幅
	(主)福岡志摩前原線 (大字小田)	大字西浦 ～大字小田	10.5	-	680	⑥	歩道美化

【河川】

区	河川名	概要	番号	備考
東	準用河川 浜男川	護岸工等 L=860m	①	治水対策

【下水道】

区	施設名	概要	番号	備考
東	和白水処理センター	MAP設備更新	②	改築更新
	和白唐の原汚水幹線(1)	○1,500mm L=420m	③	地震対策
中央	天神幹線(1)	□2,100mm×2,000mm L=170m	④	改築更新
	春吉1号幹線(1)	○1,100mm L=344m	⑤	地震対策
早良	城西1号幹線(10)	□3,000mm×2,700mm L=107m	⑥	地震対策